

神奈川レスキューサポートバイク・ネットワークです！

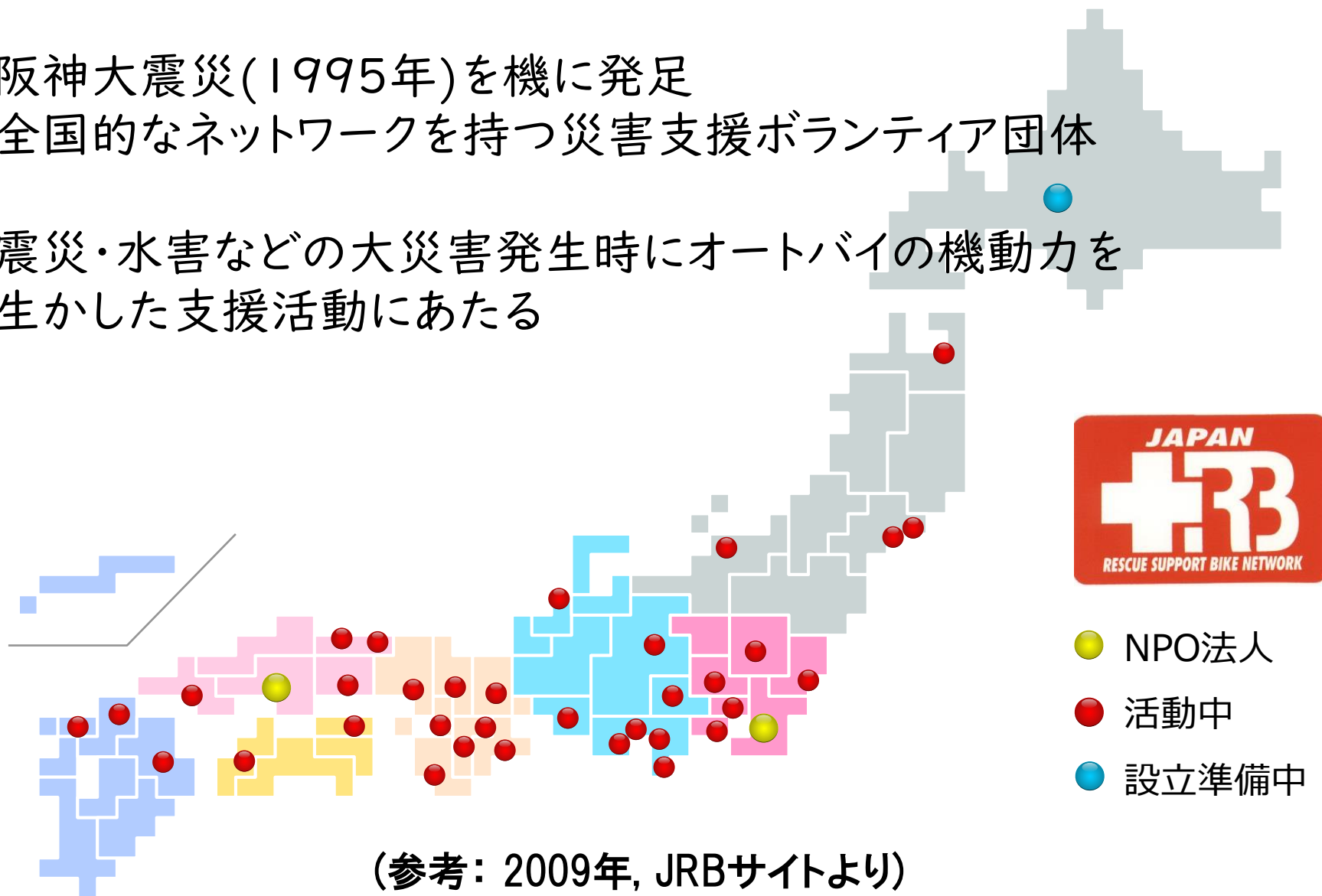


バイクによる救援活動支援ボランティア団体

レスキューサポートバイク (RB) とは？

阪神大震災(1995年)を機に発足
全国的なネットワークを持つ災害支援ボランティア団体

震災・水害などの大災害発生時にオートバイの機動力を
生かした支援活動にあたる



(参考: 2009年, JRBサイトより)

神奈川RBとは？



【発足】

1999年

【活動】

バイクの機動力と無線通信を活用して被災地の救援活動や情報活動の支援を行うボランティア団体

【活動エリア】

神奈川県および近県

【隊員数】

約30名

【対応した災害】

東日本大震災, 中越沖地震, 中越大震災, 有珠山噴火, 西日本豪雨, 九州北部豪雨, 熊本地震, 令和元年台風15・19号等

【平時の活動】

各種防災訓練, オートバイ運用訓練, 無線訓練, 他団体との連携

神奈川RB宣言

1. 我々は、震災時においてオートバイの機動性を活かして被災地のために救援活動とその支援を行います
2. 我々は、ボランティア活動を基本とし、活動上発生した傷害は加害被害を問わず自己責任とします
3. 我々は、自己完結型のボランティアを目指します
4. 我々の活動は、ボランティア精神をもったあらゆる人々に開かれています

神奈川RBが大切にしていること



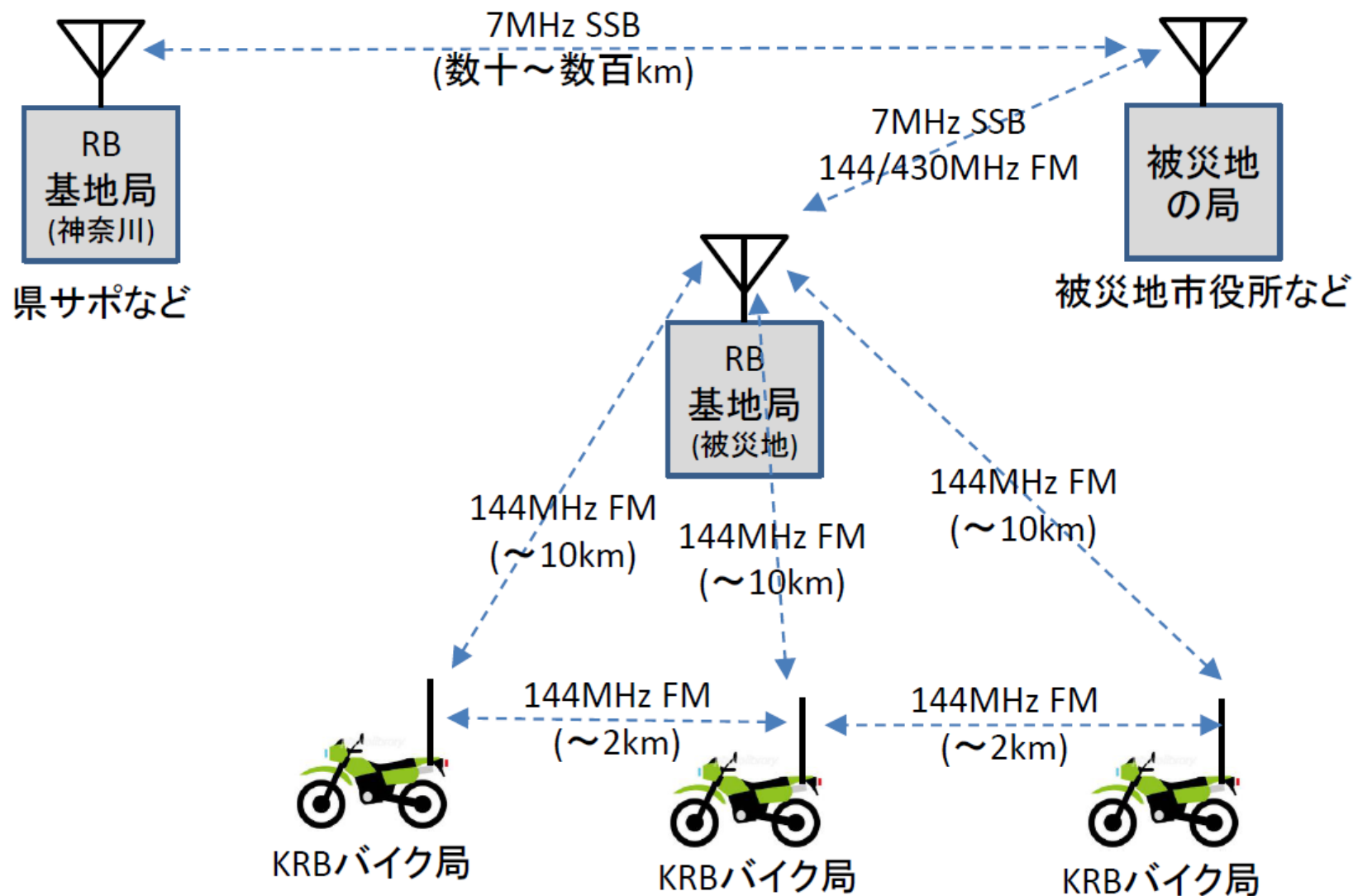
- ・地元神奈川や近県の自治体, 災害支援団体とのネットワーク作り
(何かあったときに自分たちだけでは何もできない)
- ・被災地ではバイクを使うことにとらわれない活動を
(バイクは活動の一手段)
- ・自己完結型活動
(被災地や他団体に与える負担は最小に)
- ・できる範囲で、できる支援を
(ボランティアは力を入れすぎると長続きしない. 継続に価値有)

被災地での無線通信は…



- ・通信インフラが寸断された被災地では、RBメンバーがバイクに無線通信機を搭載して移動することで、通信が行き届かない地域の情報伝達を助けたり、情報収集を行います
- ・無線は電波の種類によって通信距離が変わったり、障害物によって途切れてしまうことがあります
そのため、周波数帯や電波形式をいくつか組み合わせたり、他の団体の協力して中継基地を作り、より円滑な通信伝達ができる仕組みを構築し運用しています

災害支援時のネットワーク構成(想定)





無線訓練（年2回）

- 神奈川RB専用の社団無線局を開設中（JQ1YOB）
- 通信手順と設備の屋外での運用訓練を実施中



無線訓練（年2回）

- オートバイに可搬型の通信機を装備
- 通信孤立地域へ出向いて情報収集・伝達することを想定した訓練

被災地での二輪運転技術は…



- 被災地では交通手段が限られ, 走行ができない場所が多くみられるようになります
- 荒地でも走行しやすく, コンパクトで機動力のあるバイクはそうした場所での交通手段として有効です
- しかし、デメリットも…
 - 荒地や慣れない土地での走行には技術が必要です
 - 積載できる荷物量にも制限があります
 - 日々, そのような状況を想定・意識して訓練や技術向上に取り組んでいます



未整地走行訓練

- 道路が陥没したり崩れたりした被災地を想定したオフロードコースでの走行訓練（山梨県）
- 他県R B隊員と合同で実施



東日本大震災被災地（気仙沼）における活動

- 被災地の子どもたちを元気付けるための活動に参加
- 現地の被災状況把握・情報収集・物資搬送を担当



東日本大震災被災地（気仙沼）における活動

- 2人乗りでマスコミ・海外の研究者等の要員輸送を実施（写真はテレビ局の記者が後席に搭乗中のもの）

実際の活動をイメージして…



- 実際の活動をイメージした訓練を企画、参加することでスムーズな活動や連携ができるようにしています





ビッグレスキューかながわ

- 年に1度開催される県域の総合防災訓練合同訓練に参加
- 「物資輸送」「情報伝達」「ニーズ発掘」に関しての活動を担います



トリアージ訓練

- 神奈川県内の二次救急医療機関で実施されるトリアージ訓練に協力（とてもリアルな傷病者の演技が必要です）



神奈川RBへのご連絡は
<http://kanagawarb.org>
まで



神奈川RB_HP_15



Facebook からもお気軽にどうぞ!!

